

Breakthrough No. 4

Why do we come to this place, to Hiroshima?

Seventy-one years ago, on a bright cloudless morning, death fell from the sky and the world was changed. A flash of light and a wall of fire destroyed a city and demonstrated that mankind possessed the means to destroy itself.

71年前、ある晴れた雲一つない朝、死が空から落ち、世界が変わりました。一つの閃光と火の海が街を破壊し、人類が自らを破壊する手段を手に入れたことがはっきりと示されたのです。

オバマ前アメリカ大統領が、広島を訪れたのは昨年の5月27日。唯一の原爆使用国であるアメリカでは、現職大統領の被爆地訪問はタブーとされていた。日本上陸作戦で失われたたであろう多くのアメリカ兵を原爆は救ったことになっている。大統領が広島を訪れると、謝罪と受け取られるので、広島訪問はあり得ないことであった。

オバマ氏の広島訪問が実現したのは、広島市民のおこなった「オバマへの手紙」キャンペーンが大きかった。謝罪にこだわらず、訪れて核軍縮のメッセージを世界に向けて発信して欲しいという広島市民の思いが通じた。広島の前爆では、アメリカ兵も被害者になっているという事実がオバマ氏を動かしたと言われている。昭和20年7月28日日本の高射砲によって撃墜された爆撃機より脱出した12名のアメリカ兵が、原爆投下によって10名が即死、2名は2週間近く生存し亡くなった。亡くなった2名は、日本人の手によって葬られ墓標も建てられた。

オバマ氏の広島訪問は、アメリカ兵を含む全ての犠牲者の追悼のために実現した。

Why do we come to this place, to Hiroshima? We come to ponder a terrible force unleashed in a not so distant past. We come to mourn the dead, including over 100,000 in Japanese men, women and children; thousands of Koreans; a dozen Americans held prisoner. Their souls speak to us. They ask us to look inward, to take stock of who we are and what we might become.

なぜ私たちはこの地、広島を訪れるのでしょうか。私たちは、そう遠くない過去に恐ろしい力が放たれたことについて深く考えるために訪れます。10万人以上の日本人男性、女性、子供たち、何千人もの韓国人、そして12人の捕えられていたアメリカ人捕虜を含む死者を悼むために訪れるのです。彼らの魂は私たちに話しかけます。自らの内に向き合い、私たちが誰で、今後どうなるかをよく考えるようにと言います。

マリアナ諸島と広島④

■原爆投下「広島は全滅」と第一報 岡ヨシエさん死去 2017年5月30日「朝日新聞」デジタルより
広島への原爆投下当日、学徒動員されていた軍施設から「広島が全滅」と一報した被爆者の岡ヨシエさんが19日死去した。86歳だった。葬儀は近親者で営まれた。

爆心地から1キロ圏内で被爆。当時、比治山高等女学校（現比治山女子中・高校）3年生で、広島城本丸の地下壕にあった中国軍管区司令部で軍施設や報道機関などへの警報の伝達業務を担当していた。壕の外に出て変わり果てた光景を見て、広島県福山市の歩兵連隊司令部に「新型爆弾にやられた。広島は全滅状態」と電話で伝えた。これが、原爆投下の外部への第一報とされる。

※オバマ氏の演説は、英文、和訳とも「英語学習お助けサイト」より

高校2年生の皆さんへ 教育実習生の先生方から

■池上航平 先生（2年2組／保健体育）

私は、高校2年の今の時期ほとんど勉強せず、部活ばかりやっていた。部活を言い訳にして、小テストの勉強すらまともにせず、毎回再テストでした。しかし、部活を引退して、ゼロからのスタートだったので非常にキツかった。何度も何度も、もっと勉強しておくべきだったと後悔した。部活を頑張るのはもちろんだが、勉強もしっかりやるべきだと思う。どちらも中途半端になってはいけないと思います。

大学はとても楽しいところです。今頑張って楽しい未来を自分で作り上げましょう！

■埴慎太郎 先生（2年3組／保健体育）

高校2年生の頃は、部活動で代が替わり、中心となって行く中で、必死になりすぎて勉強に手が回らなくなった。私以外にも、そういう生徒は多く、2年生の時に勉強していた子達とは、その時期に大きく差を広げられてしまったのだと思う。それらは、他の高校でもそうだと思うから、差をつけるなら今の時期だと思う。

■物井遼河 先生（2年4組／地理）

自分は、高校生の時、将来の職業のことについて何も考えずに大学受験をし、大学に入学しました。その後、しばらくしてからあることをきっかけに特別支援学校の教員になりたいと思い、教員免許を取得しようと思いましたが、入学した学科が全く関係ない学科であったため苦労しました。何も考えずに入る人は少ないとは思いますが、万が一そのような生徒がいる場合は、しっかりと考えた上で入ることを勧めます。今、具代的に将来何をやりたいのか分からない人は、少しでも興味がある事について、積極的に調べたり、体験することを通して見つけていく事が重要だと思います。

■大貫智寛 先生（2年5組／物理）

私には後悔していることがあります。それは、3年生になってからの多くの時間を費やしてしまったことです。テスト前だけ頑張って日頃の勉強をおろそかにしていた私は、3年生になってから毎日のように終電まで勉強することとなり、高校生活を十分楽しめなかったように感じます。

今思うと、毎日友達に会えて、部活や勉強に打ち込める高校生活は充実していて、特別な時間でした。そんな貴重な時間を最大限に楽しむためにも、日頃の授業や学習を大切にしたいです。

今から頑張れば、どの大学でも合格する可能性は十分あると思います。自分のためにも、早めから受験を意識して頑張ってください。

■大森翔 先生（2年6組／化学）

高校2年生になると、学校生活に慣れて生きて、つい、中だるみしてしまいがちです。学習面を疎かにしてしまわないよう、毎週行われる小テストや授業の予習復習にしっかりと取り組むことを心掛けていきましょう。コツコツと積み重ねた努力は、後に必ず生きて結果として返ってきます。

2年生のみなさん、それぞれ自分の目標に向かって、一生懸命に頑張ってください。応援しています。

■小林将輝 先生（2年7組／数学）

高校生活を楽しみたい人 部活を頑張りたい人

などなど、様々な人がいます。それぞれ、やりたいことは一生懸命やって悔いのないよう頑張ってください。それと同時に、学習する習慣だけは作っておいた方が良いでしょう。大変だと思いますが、毎日、短時間でも集中して学習する習慣を作っておくことで、来年に控えている受験にも繋がると思います。

■グアムの歴史

マリアナ諸島の島々には、同じ文化と言語を持つ人々が次々に定住していったと考えられています。これらの人々がのちにチャモロ人と呼ばれるようになりました。

グアム島が初めてヨーロッパと接したのは1521年3月6日とされています。それは世界一周の航海の途にあったマゼランがグアム島を発見し、ウマタックに上陸したことがきっかけでした。マゼランがグアム島を発見した後、1565年スペインの征服者がグアム島に到達し、スペイン国王がグアム島およびその他のマリアナ諸島の領有権を正式に宣言しました。

1898年米西戦争が勃発しました。スペイン領であったグアム島もアメリカ海軍の砲撃を受け、同年アメリカによって占領されることになります。グアム島はアメリカ海軍の石炭補給および通信連絡の拠点として使用されていましたが、1941年、真珠湾攻撃後間もなく侵攻してきた日本軍の手に落ちることになるのです。

1941年、日本は真珠湾攻撃による太平洋戦争勃発を機にグアムを占領します。グアムは日本軍の占領下にある唯一の旧米国領となり、第二次世界大戦中も他に類を見ない立場に置かれました。日本軍はグアム島を「大宮島」と改名しました。

1944年、アメリカ軍がグアム島に上陸。数千人ものチャモロ人、米兵、日本兵の命を奪った3週間に及ぶ激戦の末、グアム島は平静を取り戻し、再びアメリカの統治下に入りました。1950年にアメリカの自治属領(準州)となり、今日までアメリカ軍の太平洋戦略上の基地として活用されています。

グアム政府観光局HPより抜粋

原爆の標的となった広島市は、明治期から旧日本陸軍が拠点を置いた軍都だった。

強兵政策を進める明治政府は廃藩置県後、広島城内に鎮西鎮台第一分営を置き、1873（明治6）年には全国六鎮台の一つに数えられる広島鎮台とした。88年には第五師団に改称。日清戦争の間は大本営が置かれ、宇品港は全国の兵士を大陸に送り出す拠点となった。

以後、大正、昭和にかけさまざまな軍事施設が増強され、日中戦争、太平洋戦争でも海外侵略の重要な一翼を担った。

太平洋戦争末期には、西日本一円を管轄する第二総軍司令部が二葉の里（東区）に置かれた。空襲に備えて市中心部の建物疎開が大々的に実施され、原爆投下の朝も、多数の学徒らが作業に動員されていた。爆心地に近い屋外での作業のため、膨大な犠牲者を生んだ。

なお、「ヒロシマ新聞」に「県産業奨励館」と記された建物は現在の原爆ドーム。1996年、ユネスコの世界遺産に登録された。

基町の広島城城郭一帯は、陸軍の施設が集積し、本丸下段にあった中国軍管区司令部には、比治山高等女学校の3年生が学徒通信隊として動員されていました。ここでは、司令部の職員700余人と比治山高等女学校の生徒・教員64人、拘置所の米軍捕虜2人が死亡しました。比治山高等女学校の生徒だった岡ヨシエさん(当時14歳)は、学徒動員で中国軍管区司令部防空作戦室に勤務していました。半地下の作戦室で被爆岡さんは、しばらく気を失った後、外に出ました。海まで見渡せる壊滅したヒロシマを見て、驚きました。作戦室に戻って、福山へヒロシマの様子ようすを連絡しました。これが、広島からの「第一報」と言われています。